


主催事業

- 5月 総会
- 9月 敬老祝賀会
- 10月 ハイキング
- 11月 県外研修会
- 1月 一人暮らし高齢者訪問
- 2月 学習会

み か げ

笠間市社会福祉協議会

 稲 田 支 部

第21号

令和5年11月25日発行

発 行 笠間市社協稲田支部
 支部長 宮崎 守
 編 集 稲田支部広報委員会
 印 刷 大塩企画



敬老者代表謝辞



式 典



落 語



ギター漫談

長 寿 を こ と ほ ぐ !

4 年 ぶ り に 敬 老 祝 賀 会 開 催

9月17日(日)、4年ぶりとなる敬老祝賀会が地域交流センターいなだ(旧稲田公民館)で開催されました。

当日は来賓の稲田小学校長、稲田中学校教頭、地域交流センター長のご臨席のもと、多くの方のご出席を頂き盛大に開催できました。実行委員はじめ区長、関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

今年度の稲田地区の75歳以上の対象者は519人(施設入所者を含む)で、男性182人、女性337人でした。おめでとうございます。ちなみに100歳以上の高齢者は男性1人、女性3人で、最高齢者は108歳の女性でした。

全国の100歳以上の高齢者数は過去最多の9万2139人で、53年連続で増加しました。「人生100年時代」と言われ久しくありませんが、生きがいを持ち続け、健康でより良い人生を全うしたいものです。

だれもがいつかは通る道、一人一人が元気で自分らしく、心豊かに過ごされることを願ってやみません。

(次ページに続く)

稲田支部総会開催！ 多くの事業が4年ぶりに復活

令和5年度笠間市社会福祉協議会稲田支部総会が、5月14日(日)午前10時から運営委員24名出席のもと、地域交流センターで開催されました。

宮崎守支部長からは、運営委員の協力にねぎらいと感謝、そして「過去3年間はコロナ禍のため中止事業があったが、今年度は計画どおりに実施したいのでよろしくお願したい」との挨拶がありました。

その後、令和4年度事業報告・決算報告・会計監査報告、令和5年度事業計画案・予算案・運営委員の承認・役員承認について審議がありました。いずれも承認を頂いて、令和5年度の社協稲田支部がスタートしました。詳しくは、次の一覧表と4ページをご覧ください。

支部社協役員・運営委員

| 役 職 | 氏 名 | 現 職 等 |
|------|--------|--------------------------|
| 支部長 | 宮崎 守 | 第110区長、民・児委員 高齢者クラブ会長 |
| 副支部長 | 稲野邊 耕一 | 公民館長主事 |
| 副支部長 | 鈴木 隆 | 第94区長 |
| 会 計 | 足立 登 | 第97区長 地域交流センター長 |
| 監 事 | 市原 正美 | 第89区長 |
| 監 事 | 米川市 郎 | 第93区長 |
| 広報委員 | 梅原 守 | 民生委員・児童委員 |
| 広報委員 | 椎名 芳男 | 民生委員・児童委員 第98区長 |
| 広報委員 | 潮田 浩 | 民生委員・児童委員 |
| 運営委員 | 飯島 浩子 | 第88区長 |
| 運営委員 | 野沢 幸男 | 第90区長 |
| 運営委員 | 郡司 明男 | 第91区長 |
| 運営委員 | 森田 功 | 第92区長 |
| 運営委員 | 大本 勝 | 第95区長 |
| 運営委員 | 山口 善史 | 第96区長 |
| 運営委員 | 市村 一夫 | 第99区長 |
| 運営委員 | 増淵 哲男 | 第100区長 |
| 運営委員 | 稲野邊 直子 | 民生委員・児童委員 |
| 運営委員 | 中野 治美 | 民生委員・児童委員 |
| 運営委員 | 長谷川 泉 | 元支部長 |
| 運営委員 | 佐藤 正子 | ボランティア役員 |
| 運営委員 | 鋒田 まさの | ボランティア役員 |
| 運営委員 | 鈴木 篤子 | ボランティア役員 |
| 運営委員 | 五十嵐 茂 | 高齢者クラブ会長 |
| 運営委員 | 田村 みさ子 | 学識経験者 |
| 運営委員 | 森田 紹也 | 学識経験者 |
| 運営委員 | 湯 浅 修 | 学識経験者 |



(前ページより)

式典は10時開式で、宮崎守実行委員長の主催者挨拶の後、来賓代表として稲田小学校校長の高野裕一様よりご祝辞、元県議会議員の小池忠様より敬老者代表謝辞を頂きました。

アトラクションは、流しのでっちゃんによるギター漫談、麴やこうじさんの落語、そして最後にビンゴ大会でした。ギター漫談や落語では大いに笑わせて頂き、ビンゴ大会では出てくる数字にハラハラドキドキで楽しく和やかな時間を過ごすことができました。

帰りは豪華な弁当と紅白まんじゅうを手に、皆さん満足して帰って行かれました。



救急法講習会・炊出訓練

地域交流センターで開催



胸骨圧迫

赤十字救急法講習会及び非常食炊出訓練が、地域交流センターいなどで10月20日(金)9時20分より行われました。

当日は植木敏夫指導員を中心に4人の日赤指導員から、稲田地区の参加者20人、日赤笠間支部分団員16人が心肺蘇生法、AEDの使い方、三角巾を使ったけがの対処法、非常食の調理の実技訓練を受けました。

心肺蘇生法ではまず落ち着くことが大事で、①意識の確認、②

119番通報とAEDの手配の依頼、③呼吸の確認、④胸骨圧迫、⑤人工呼吸などを学習しました。AEDは電源を入れた後、音声メッセージに従い操作することを学習しました。

呼吸はあるけれど意識がない場合は、嘔吐物がのどに詰まらないようにするため横向きにするそうです。

非常食の調理と試食も行い、とても有意義な訓練となりました。



AEDの操作

この人に聞きました



民生委員・児童委員
中野治美さん

関につないだりしています。
Q 活動のご苦労はありますか？

新任でまだ地域との絆ができていないので、信頼関係が不足しているのかなと思います。

Q 委員になってよかったこと、うれしかったことは何ですか？

地域の方が顔を覚えてくれたこと、訪問するときにこやかに迎えてくれたこと、「おつかれさま」「ごくろうさま」とねぎらいの言葉をかけてくれたことです。

Q 今後の抱負を教えてください？

地域の方に信頼され、対象者の支援に少しでも役に立ちたいです。

Q 地域の方へ何かメッセージはありますか？

今までは何かと地域の方に見守られてきたので、これからは見守りをするのでご恩返しをしたいと思います。困り事があつたら、遠慮しないで声をかけてください。
元気で長生きしてください。

中野さんは家を切り盛りする傍ら、仕事や民生委員・児童委員の外、ボランティアや社協・交流センターの運営委員、稲田ふれあい祭りの実行委員も務めるパワフルお母さんです。

Q 受け持ちの区域はどこですか？

99区と100区です。

Q 活動の内容を教えてください？

主に一人暮らしの高齢者と高齢者のみの世帯を訪問しています。

世間話をしながら、相談事があれば話を聞くようにしています。

Q 活動で心がけていることはどんなことですか？

困っていることがあれば、解決策の提案をしたり、パイプ役・橋渡し役として、福祉課や社協など関係機

令和4年度 事業報告

| 月 日 | 事 業 名 |
|---------|-----------------|
| 7月17日 | 令和4年度総会 |
| 11月5・6日 | 文化祭(協力) |
| 12月 1日 | 広報紙第19号発行(全戸配布) |
| 12月 4日 | そば打ち教室(協力) |
| 1月22日 | 一人暮らし高齢者訪問 |
| 3月12日 | 学習会(福原駐在所員講話) |
| 3月30日 | 広報紙第20号発行(全戸配布) |

※ 新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、次の事業は中止となりました。

- 稲田ふれあい祭り(協力)
- 敬老祝賀会
- ハイキング
- 芸能発表会(協力)
- 県外研修会

※ (協力)は、公民館主催事業で、社協稲田支部が財政支援を行っている事業です。

令和5年度 事業計画

| 月 | 事 業 名 |
|-----|-----------------|
| 5月 | 令和5年度総会 |
| 7月 | 稲田ふれあい祭り(協力) |
| 10月 | 敬老祝賀会 |
| 10月 | ハイキング(歩く会) |
| 11月 | 広報紙第21号発行(全戸配布) |
| 11月 | 県外研修会 |
| 11月 | 稲田公民館文化祭(協力) |
| 12月 | そば打ち教室(協力) |
| 1月 | 一人暮らし高齢者訪問 |
| 2月 | 学習会 |
| 3月 | 広報紙第22号発行(全戸配布) |

令和4年度 決算書

1 収入の部 (単位:円)

| 項 目 | 決算額 | 備 考 |
|---------|---------|--------|
| 1 会費還元金 | 337,000 | 市社協より |
| 2 繰越金 | 294,153 | 前年度繰越金 |
| 3 広報助成金 | 33,700 | 市社協より |
| 4 雑収入 | 2 | 利子 |
| 合 計 | 664,855 | |

2 支出の部 (単位:円)

| 項 目 | 決算額 | 備 考 |
|----------|---------|---------|
| 1 事務費 | 80,867 | |
| 会議費 | 17,940 | 総会、他諸費 |
| 備品費 | 0 | |
| 消耗品費 | 9,499 | 事務用品等 |
| 通信運搬費 | 2,268 | 葉書 |
| 報償費 | 2,160 | 学習会 |
| 手当費 | 49,000 | 役員手当 |
| 2 事業費 | 277,150 | |
| 在宅福祉活動費 | 36,950 | 高齢者訪問祝品 |
| 地域交流事業費 | 0 | イベント中止 |
| 公民館活動支援費 | 80,000 | 公民館支援 |
| 広報啓発活動費 | 90,200 | 広報紙発行 |
| 関係団体助成費 | 70,000 | 4団体助成 |
| 研修費 | 0 | 県外研修中止 |
| 3 予備費 | 23,200 | 葬儀関連 |
| 合 計 | 381,217 | |

※ 差引残高 **283,638円** は次年度へ繰り越します。

令和5年度 予算書

1 収入の部 (単位:円)

| 項 目 | 予算額 | 備 考 |
|---------|---------|---------|
| 1 会費還元金 | 335,000 | 市社協より |
| 2 繰越金 | 283,638 | 前年度繰越金 |
| 3 広報助成金 | 33,500 | 市社協より |
| 4 雑収入 | 200,000 | 県外研修参加費 |
| 合 計 | 852,138 | |

2 支出の部 (単位:円)

| 項 目 | 予算額 | 備 考 |
|----------|---------|--------|
| 1 事務費 | 99,000 | |
| 会議費 | 20,000 | 総会、他諸費 |
| 備品費 | 10,000 | 書棚等 |
| 消耗品費 | 10,000 | 事務用品等 |
| 通信運搬費 | 5,000 | 葉書・切手 |
| 報償費 | 5,000 | 講師謝礼 |
| 手当費 | 49,000 | 役員手当 |
| 2 事業費 | 570,000 | |
| 在宅福祉活動費 | 40,000 | 高齢者祝品等 |
| 地域交流事業費 | 30,000 | 地域交流事業 |
| 公民館活動支援費 | 80,000 | 交流セ支援 |
| 広報啓発活動費 | 100,000 | 広報紙発行 |
| 関係団体助成費 | 70,000 | 4団体助成 |
| 研修費 | 250,000 | 県外研修 |
| 3 予備費 | 183,138 | |
| 合 計 | 852,138 | |